

2026年度理学研究科 修士論文のWeb提出について

以下を熟読し指定された期間内に必ず提出すること。
※ 締切に関する日時はすべて日本標準時（JST）を基準とする。

提出期間・時間・場所

	日付	受付時間	提出場所
特別修了 申請者	2026年7月1日(水)	9:00～	「Canvas LMS」(Web) https://canvas.rikkyo.bownet.cloud/login ※システムにログインして提出処理を行う。 (詳細は「Canvas LMS操作マニュアル」参照)
	2026年7月2日(木)	24時間提出可能	
	2026年7月3日(金)	～15:00まで	
年度末 修了者	2027年2月15日(月)	9:00～	
	2027年2月16日(火)	～15:00まで	

- * 指示された提出締切を過ぎた場合は受理されないので注意すること。(ただし、下記「レポート・論文等の提出に際しての注意」も参照しておくこと。)
- * 提出にあたっては、2026年度履修要項(P.134)および本資料をよく確認し、指示通りに体裁(製本、表紙など)を整えたうえで提出すること。

<注意事項>

① 提出形式

PDF

ファイル名は「専攻名_氏名」とすること。 例) 数学専攻_立教太郎

【提出前の確認】

提出前の確認 PDFファイル全体において、レイアウトの崩れや図表・文字の欠落といった不具合がないかを提出前に必ず確認すること。

② 本文

本文の形式は、指導教員の指示に従うこと。

③ 表紙

表紙には、「2026年度修士論文」、論文題目(和文・欧文とも)、指導教員名、研究科、専攻、課程、学生番号および氏名を明記すること。

④ 題目入力

論文題目を、和文・欧文とも、論文提出締切日までに下記のホームページに入力すること。

<http://wwwj.rikkyo.ac.jp/kyomubu/shuron/index.html>

* 入力は、論文提出締切日の1ヶ月前から締切日まで可能である。

2026年度修士論文

< 和文題目 >
< 欧文題目 >

指導教員 ●●●●

理学研究科 物理学専攻
博士課程前期課程
学生番号 25LA999A
氏名 ●●●●

⑤ 審査手数料

前期課程に在学して所定の単位を修得後、3年次以上に引き続き在学し、修士論文を提出する場合には、論文審査手数料1万5千円を金融機関への振込により納入すること。
該当者には、論文提出後に大学から納付手続きについて連絡する。

⑥ 最終試験

特別修了申請者については2026年7月に、年度末修了者については2027年2月中旬に最終試験を実施する。詳細については、別途、理学研究科掲示板およびR Guideで発表する。

「Canvas LMS」操作マニュアルについて

「Canvas LMS」の操作については、各自で必ずマニュアルを確認すること。

- ① 「Canvas LMS 学生用マニュアル」 (「Canvas LMS」全体のマニュアル)

https://helpdesk.rikkyo.ac.jp/canvaslms_stu



- ② 「Canvas LMS」における修士論文の提出手順 (簡易版)

<https://s.rikkyo.ac.jp/canvasc019>



< 「Canvas LMS」の操作に関する問合せ先 >

メディアセンターヘルプデスク

※詳細は、以下のSPIRITメディアセンターページで確認すること。

<http://s.rikkyo.ac.jp/helpdesk>

※時間的余裕をもって問い合わせること。



提出物について

提出物に関する事項 (種類、表紙・本文やその他の諸形式等) については、別途発表されている研究科からの指示に従うこと。

提出方法と注意事項

修士論文は、指定された期間以外では理由の如何にかかわらず一切受け付けないので十分注意すること。

- ① Webでの提出状況 (提出の有無) は、「Canvas LMS」におけるIDをもって判断する。必ず自らのV-Campus IDでログインした状態で提出すること。
- ② 提出資格を有している学生に対してのみ、「Canvas LMS」上に当該論文提出用のコースが表示される (下記③参照)。
- ③ 「Canvas LMS」へのログイン後に表示される論文提出用のコース画面を開いて提出 (アップロード) すること。それ以外での提出方法 (指導教員へのメール送信等) では一切受け付けないので十分注意すること。
※提出期間前に「Canvas LMS操作マニュアル」を参照するなどをして、事前に提出時の手順を必ず確認しておくこと。
- ④ 「Canvas LMS」のコース機能を利用するにあたっては、本学による類似性判定支援ツールの使用に関する提出者からの事前の同意が必要となる。同意の詳細については以下のページで確認すること。なお、修士論文の提出においては、上記同意に時間を要したことを理由とした提出期間後の提出は一切認められないので、十分余裕をもって提出すること。
[※「類似性判定支援ツールの使用について」](#)
- ⑤ 提出する際のファイル形式 (拡張子) に指定 (制限) がある場合、指定以外の形式では提出できないので注意すること。
- ⑥ アップロードするデータのファイル名称は、任意のものとする。ただし、掲示等を通じて研究科より別途指示があった場合は、その指示に従うこと。
- ⑦ 提出された論文は、「Canvas LMS」に表示される論文提出用のコースを通じて提出された内容により審査されるので、提出先のコースを間違えることがないように十分注意すること。また、論文提出用のコースには審査対象となるデータ以外をアップロードしないよう注意すること。
- ⑧ **論文提出用コース内で「課題を提出する」をクリック後、自身の通信環境によって提出完了まで時間がかかることがある。**「課題を提出する」をクリックしていても提出締切時刻までに提出が完了していない場合は提出と認められないため、時間に十分余裕をもって提出すること。提出状況の確認は下記⑨を参照すること。
- ⑨ **論文提出用コース内で「提出しました!」と表示されていない場合は、理由の如何にかかわらず提出期間内に論文が提出されなかったことを示している。**論文提出後、「Canvas LMS」論文提出用コース内の画面表示が「提出しました!」となっていることを必ず確認すること。
- ⑩ Web提出では、自らの提出状況や提出後のデータ内容を確認することができる。十分余裕をもって提出し、それらを確認すること (文字化け、ファイルの破損等を理由とした提出期間後の再提出は一切認められない)。

- ⑪ 論文提出期間内に限り、論文データは同一の論文提出用のコース内で複数回提出することができる。ただし、最後に提出されたものが審査の対象となるため、提出（再提出）は各自の責任によって十分注意して行うこと。
※再提出によって自動的にデータが上書きされるわけではない。提出したデータ内容を必ず確認すること。
- ⑫ 通信上のトラブル（インターネットに接続できない等）や電子機器上のトラブル（処理速度が遅くなった等）を理由とした提出期間後の提出は一切認められないので、十分余裕をもって提出すること。
- ⑬ 提出期間前にあらかじめ安定した通信環境を確保し、十分準備すること。
※有線接続した通信環境を推奨する。うまく提出できない場合には、十分余裕をもって、キャンパスのPC教室備え付けのPCを利用する等、自身の責任において通信環境を確保すること。
- ⑭ 自身の責任において用意した通信環境（大学PC教室含む）に起因する通信上のトラブルや電子機器上のトラブルをWebシステム（Canvas LMS）の不具合であると誤認しないよう十分注意すること。大学の環境に起因するシステム遅延等でWebシステム（Canvas LMS）に不具合が発生した場合のみ、大学からその事実および締切延長措置等の対応を伝達する。

◆ **締切日に事件、事故に遭遇したら・・・**

事件・事故など「不測の事態」により、本人が提出期限までに修士論文を提出できない場合は、当日の締切時刻以前にその対応について所属キャンパスの教務窓口にお問い合わせ、指示を受けること。

※「不測の事態」とは、事件、事故などの場合であり、機器（パソコン等）の故障、通信上のトラブル、データの紛失などは含まれないので注意すること。

修士論文は、時間に余裕をもって提出すること。

学校感染症のため出校停止となった学生の修士論文の提出について

出校停止となった場合でも自宅等からのWeb提出が可能であるため、いかなる代替措置も認められない。必ず提出期間内に提出すること。